知 基 第 197 号
那総平第 66 号
令和８年10月５日

沖縄防衛局長
村井　勝　殿

沖縄県知事　　古謝　玄太

那覇市長　　知念　覚

那覇市における米海兵隊員による強盗殺人事件について（抗議）

令和８年10月４日、米軍普天間飛行場所属の海兵隊上等兵の男性が強盗殺人容疑で緊急逮捕されました。

今回の事件は、殺人事件でかつ他人の財産を奪うという、極めて悪質で、県民、市民に大きな不安を与える事件であり、断じて許せるものではなく、強く抗議します。

県及び那覇市はこれまで米軍人・軍属等による事件・事故が発生する度に、綱紀粛正、再発防止及び教育の徹底等を米軍等に何度も繰り返し強く申し入れてきました。

平成28年及び平成31年にも女性が殺害される事件が発生している中でこのような事件が起き、県民の尊い命が失われたことは、大変遺憾であり、激しい怒りを覚えます。

県及び那覇市としては、これまで、事件が起こるたびに米軍に対し再発防止を求めているものの、このような事件が再び起きたことは、米軍の綱紀粛正、人権教育等が全く機能していないと言わざるを得ません。

このため、米軍による捜査への全面的な協力、米軍人等の綱紀粛正及び再発防止の実施を強く求めます。また、このような悲惨な事件が二度と起きないよう、米軍及び日米両政府の責任において、日米地位協定の見直しを含め、実効性のある抜本的な対策を講ずるよう強く求めます。

知 基 第 197 号
那総平第 66 号
令和８年10月５日

外務省特命全権大使（沖縄担当）
紀谷　昌彦　殿

沖縄県知事　　古謝　玄太

那覇市長　　知念　覚

那覇市における米海兵隊員による強盗殺人事件について（抗議）

令和８年10月４日、米軍普天間飛行場所属の海兵隊上等兵の男性が強盗殺人容疑で緊急逮捕されました。

今回の事件は、殺人事件でかつ他人の財産を奪うという、極めて悪質で、県民、市民に大きな不安を与える事件であり、断じて許せるものではなく、強く抗議します。

県及び那覇市はこれまで米軍人・軍属等による事件・事故が発生する度に、綱紀粛正、再発防止及び教育の徹底等を米軍等に何度も繰り返し強く申し入れてきました。

平成28年及び平成31年にも女性が殺害される事件が発生している中でこのような事件が起き、県民の尊い命が失われたことは、大変遺憾であり、激しい怒りを覚えます。

県及び那覇市としては、これまで、事件が起こるたびに米軍に対し再発防止を求めているものの、このような事件が再び起きたことは、米軍の綱紀粛正、人権教育等が全く機能していないと言わざるを得ません。

このため、米軍による捜査への全面的な協力、米軍人等の綱紀粛正及び再発防止の実施を強く求めます。また、このような悲惨な事件が二度と起きないよう、米軍及び日米両政府の責任において、日米地位協定の見直しを含め、実効性のある抜本的な対策を講ずるよう強く求めます。

知 基 第 197 号
那総平第 66 号
令和８年10月５日

在日米軍沖縄地域調整官
ベンジャミン　T.　ワトソン　中将　殿

沖縄県知事　　古謝　玄太

那覇市長　　知念　覚

那覇市における米海兵隊員による強盗殺人事件について（抗議）

令和８年10月４日、米軍普天間飛行場所属の海兵隊上等兵の男性が強盗殺人容疑で緊急逮捕されました。

今回の事件は、殺人事件でかつ他人の財産を奪うという、極めて悪質で、県民、市民に大きな不安を与える事件であり、断じて許せるものではなく、強く抗議します。

県及び那覇市はこれまで米軍人・軍属等による事件・事故が発生する度に、綱紀粛正、再発防止及び教育の徹底等を米軍等に何度も繰り返し強く申し入れてきました。

平成28年及び平成31年にも女性が殺害される事件が発生している中でこのような事件が起き、県民の尊い命が失われたことは、大変遺憾であり、激しい怒りを覚えます。

県及び那覇市としては、これまで、事件が起こるたびに米軍に対し再発防止を求めているものの、このような事件が再び起きたことは、米軍の綱紀粛正、人権教育等が全く機能していないと言わざるを得ません。

このため、米軍による捜査への全面的な協力、米軍人等の綱紀粛正及び再発防止の実施を強く求めます。また、このような悲惨な事件が二度と起きないよう、米軍及び日米両政府の責任において、日米地位協定の見直しを含め、実効性のある抜本的な対策を講ずるよう強く求めます。

知 基 第 197 号
那総平第 66 号
令和８年10月５日

在沖米国総領事
アンドリュー・オウ　殿

沖縄県知事　　古謝　玄太

那覇市長　　知念　覚

那覇市における米海兵隊員による強盗殺人事件について（抗議）

令和８年10月４日、米軍普天間飛行場所属の海兵隊上等兵の男性が強盗殺人容疑で緊急逮捕されました。

今回の事件は、殺人事件でかつ他人の財産を奪うという、極めて悪質で、県民、市民に大きな不安を与える事件であり、断じて許せるものではなく、強く抗議します。

県及び那覇市はこれまで米軍人・軍属等による事件・事故が発生する度に、綱紀粛正、再発防止及び教育の徹底等を米軍等に何度も繰り返し強く申し入れてきました。

平成28年及び平成31年にも女性が殺害される事件が発生している中でこのような事件が起き、県民の尊い命が失われたことは、大変遺憾であり、激しい怒りを覚えます。

県及び那覇市としては、これまで、事件が起こるたびに米軍に対し再発防止を求めているものの、このような事件が再び起きたことは、米軍の綱紀粛正、人権教育等が全く機能していないと言わざるを得ません。

このため、米軍による捜査への全面的な協力、米軍人等の綱紀粛正及び再発防止の実施を強く求めます。また、このような悲惨な事件が二度と起きないよう、米軍及び日米両政府の責任において、日米地位協定の見直しを含め、実効性のある抜本的な対策を講ずるよう強く求めます。